

授業開始に向けた導入研修の様子

(株)「教育と探求社」のスタッフがすべての指定校を訪問し、テキストを使った導入研修を実施します。研修では、具体的なプログラムの進め方のみならず、探究の意義と教師の役割を共有します。



【探究の意義 = 答えはひとつではない】

- ・子どもなりの答えがあり、どこまで行っても、最終ゴールはない。
- ・どうしたら新しい答えを導けるか、もっと本質に迫れるか、つねに考え続ける。



【教師の役割 = ファシリテーター】

- ・信じる → プロセスの中で混乱や壁にぶち当たることがあっても、子どもたちの成長に意識を向けて、多くを期待すること
- ・感じる → 知力だけでなく、感情、意欲、創造性、コミュニケーション力など、持てる力を総動員して取り組む子どもたちの、小さな変化や前向きな姿勢、素晴らしいアイディアの種などを見逃さないこと
- ・待つ → 学びや成長は、右肩上がり的一本道ではなく、起こるべき時に起こる。内発的学びを促す最大のコツ「辛抱強く待つこと」を大切にすること



導入研修の様子
(新市中央中学校)